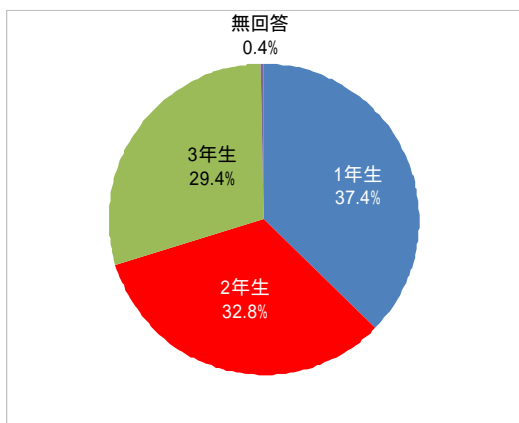


・ 小学校児童の保護者に関する調査結果

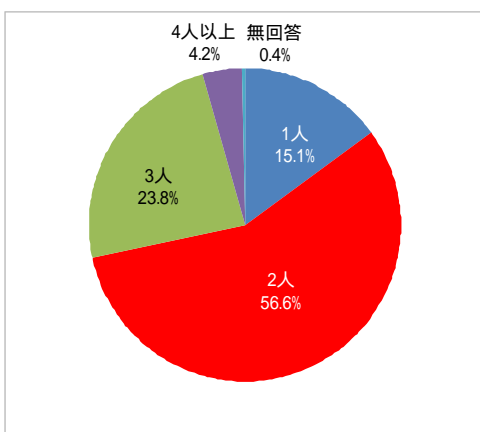
問1 お子さんの生年月をお伺いします。(学年)



1年生	99	37.4%
2年生	87	32.8%
3年生	78	29.4%
無回答	1	0.4%
全体	265	100.0%

問2 お子さんは何人いらっしゃいますか。

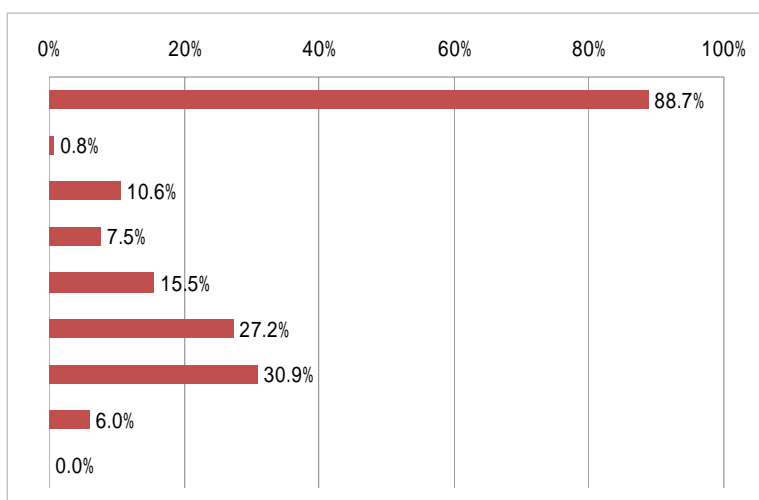
子どもの人数は、「2人」が最も高く56.6%、次いで「3人」の23.8%となった。



1人	40	15.1%
2人	150	56.6%
3人	63	23.8%
4人以上	11	4.2%
無回答	1	0.4%
全体	265	100.0%

問3 同居、近居の状況についてお伺いします。(複数回答)

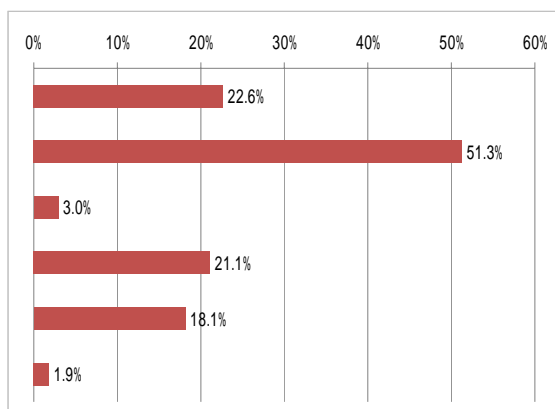
父母同居は88.7%だが、祖父同居は7.5%、祖母同居は15.5%と、三世代同居は少ない。



父母同居	235	88.7%
父同居(ひとり親家庭)	2	0.8%
母同居(ひとり親家庭)	28	10.6%
祖父同居	20	7.5%
祖母同居	41	15.5%
祖父近居	72	27.2%
祖母近居	82	30.9%
その他	16	6.0%
無回答	0	0.0%
全体	265	100.0%

問4 お子さんを預かってもらえる人はいますか。(複数回答)

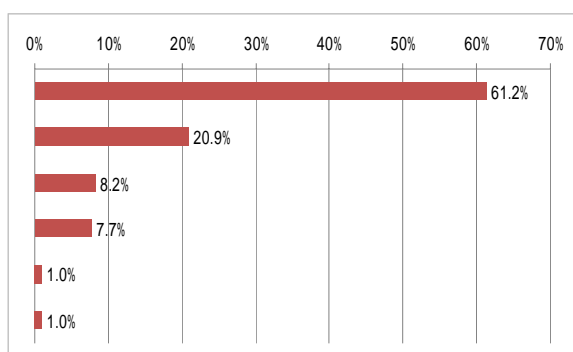
「緊急時・用事のあるときは祖父母等の親族」が最も高く51.3%、次いで「日常的に祖父母等の親族」が22.6%、「緊急時等には、子どもを預けられる友人・知人がいる」が21.1%となり、日常的に預ける割合は低い。



日常的に祖父母等の親族	60	22.6%
緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族	136	51.3%
日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる	8	3.0%
緊急時等には、子どもを預けられる友人・知人がいる	56	21.1%
いずれもない	48	18.1%
無回答	5	1.9%
全体	265	100.0%

問4-1 祖父母に預かってもらっている状況についてお伺いします。(複数回答)

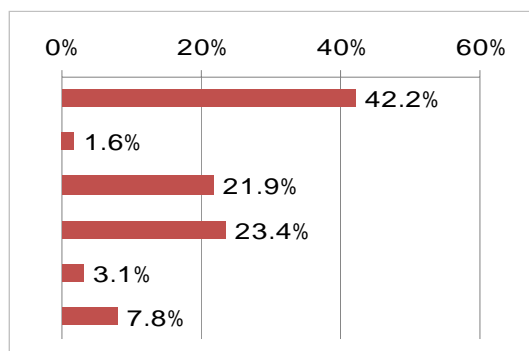
「特に問題はない」が61.2%と半数を超えるものの、20.9%は「身体的負担が大きく心配である」と回答している。



孫を預かることについては、特に問題はない	120	61.2%
身体的負担が大きく心配である	41	20.9%
時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	16	8.2%
親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	15	7.7%
その他	2	1.0%
無回答	2	1.0%
全体	196	100.0%

問4-2 友人や知人に預かってもらっている状況についてお伺いします。(複数回答)

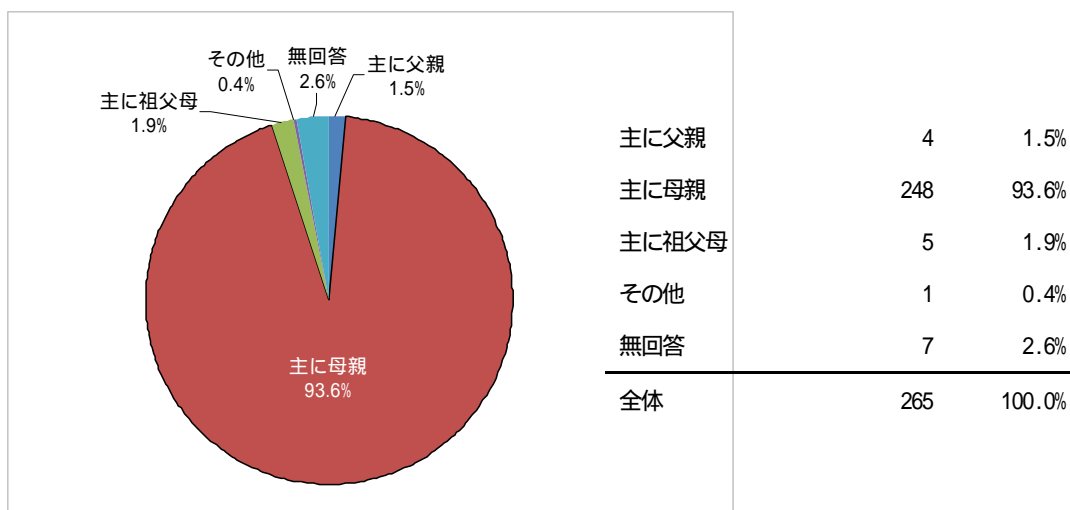
「特に問題はない」が最も高いが、祖父母に比べると42.2%と割合が少ない。また、「身体的負担が大きく心配である」が1.6%と祖父母に比べると割合が少なくなった。一方、「時間的制約や精神的負担の心配」や「負担をかけていることに心苦しい」は、祖父母に比べると高くなっている。



預かってもらうことについては、特に問題はない	27	42.2%
身体的負担が大きく心配である	1	1.6%
時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	14	21.9%
親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	15	23.4%
その他	2	3.1%
無回答	5	7.8%
全体	64	100.0%

問5 お子さんの身の回りの世話をしている方はどなたですか。

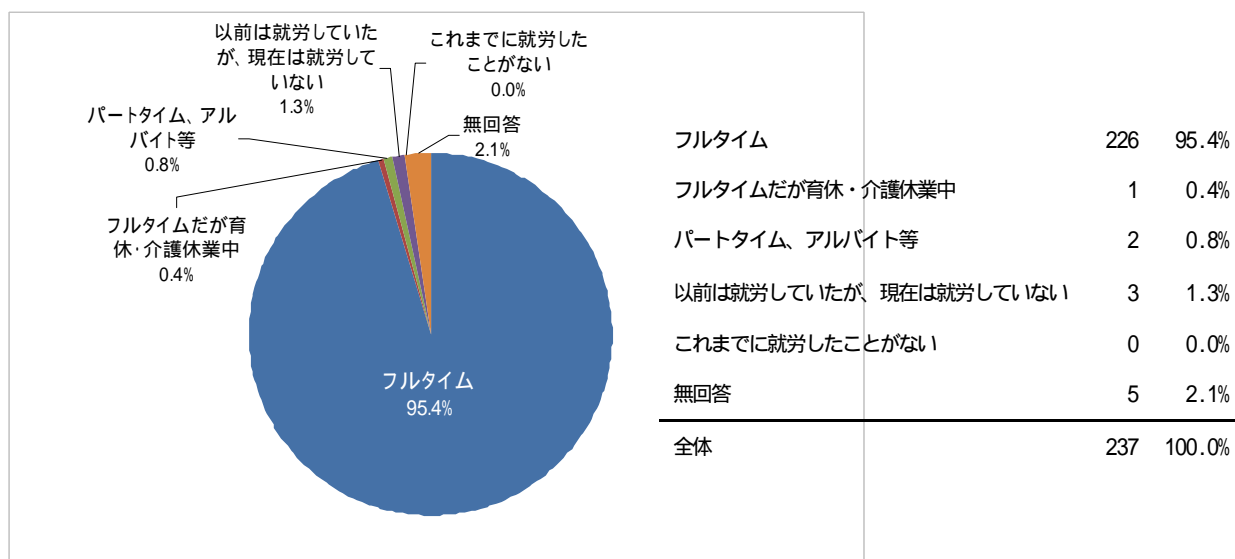
子どもの身の回りの世話をしているのは、「主に母親」が最も高く 93.6%となった。



問6 保護者の就労状況についてお伺いします。

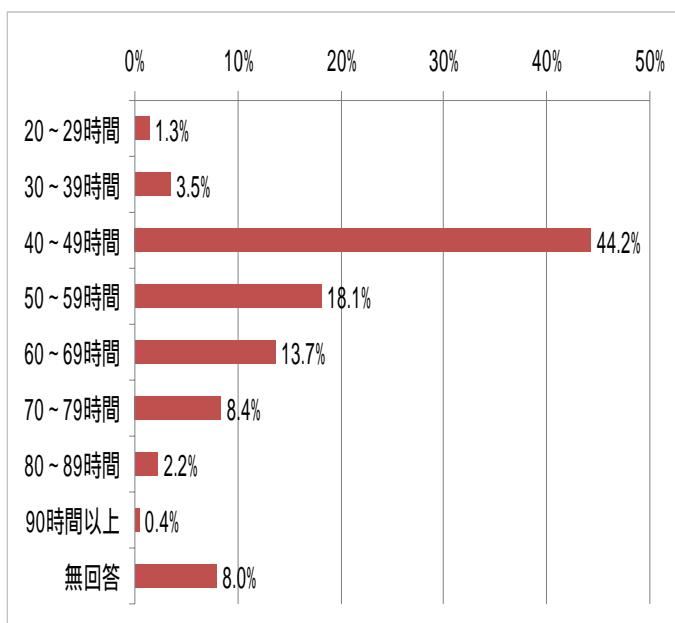
問6-1 父親の就労状況について

父親は95.4%が「フルタイム」で就労しており「パートタイム、アルバイト」や就労していない者はわずかである。



・フルタイムで就労する父親の1週あたりの平均就労時間

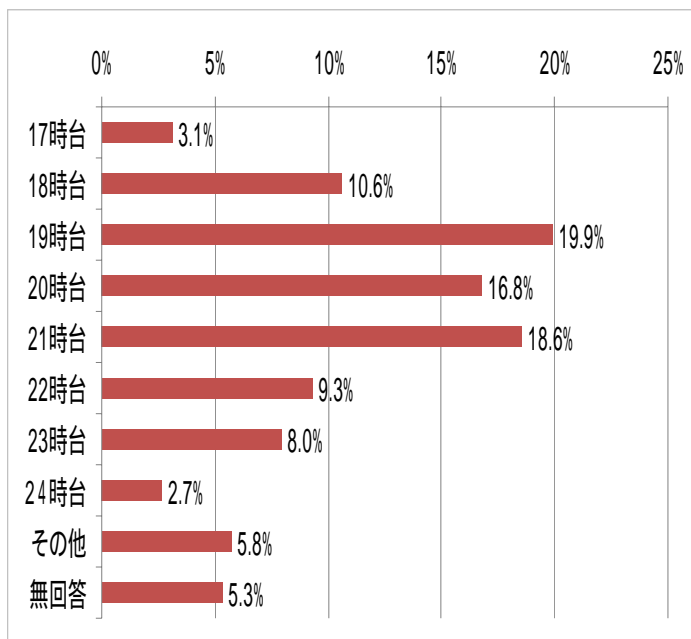
フルタイムで就労する父親の平均就労時間は、1週あたり「40時間～49時間」が最も高く44.2%、次いで「50～59時間」が18.1%、「60～69時間」が13.7%であった。



20～29時間	3	1.3%
30～39時間	8	3.5%
40～49時間	100	44.2%
50～59時間	41	18.1%
60～69時間	31	13.7%
70～79時間	19	8.4%
80～89時間	5	2.2%
90時間以上	1	0.4%
無回答	18	8.0%
全体	226	100.0%

・フルタイムで就労する父親の帰宅時間

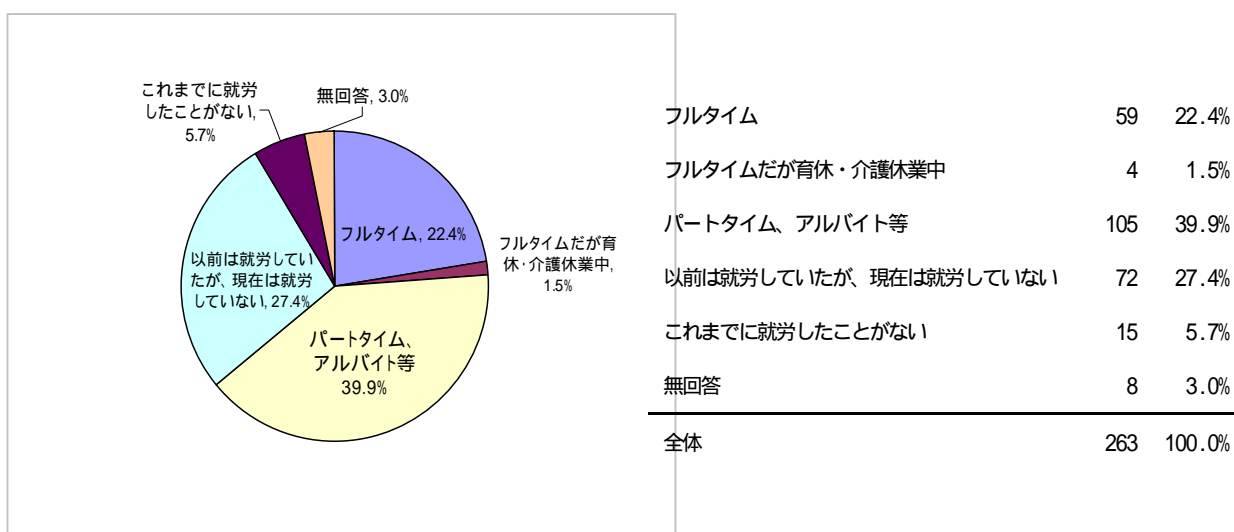
フルタイムで就労する父親の帰宅時間は、「19時台」が最も高く19.9%、次いで「21時台」が18.6%、「20時台」が16.8%であった。



17時台	7	3.1%
18時台	24	10.6%
19時台	45	19.9%
20時台	38	16.8%
21時台	42	18.6%
22時台	21	9.3%
23時台	18	8.0%
24時台	6	2.7%
その他	13	5.8%
無回答	12	5.3%
全体	226	100.0%

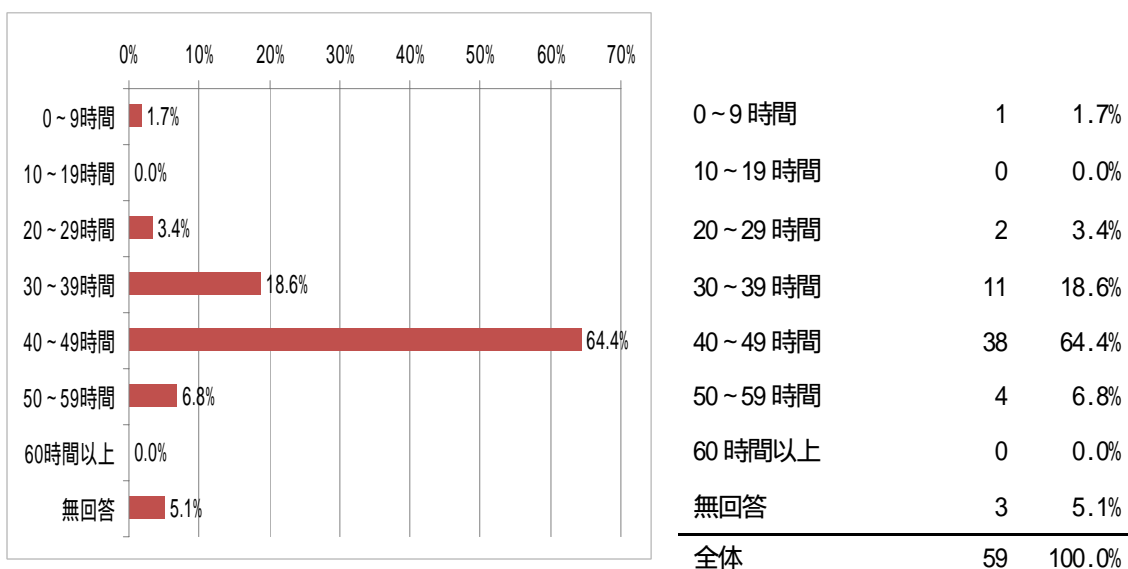
問6-2 母親の就労状況について

母親は、「パートタイム、アルバイト等」が最も高く39.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が27.4%、「フルタイム」が22.4%となり、6割強の母親が就労している。



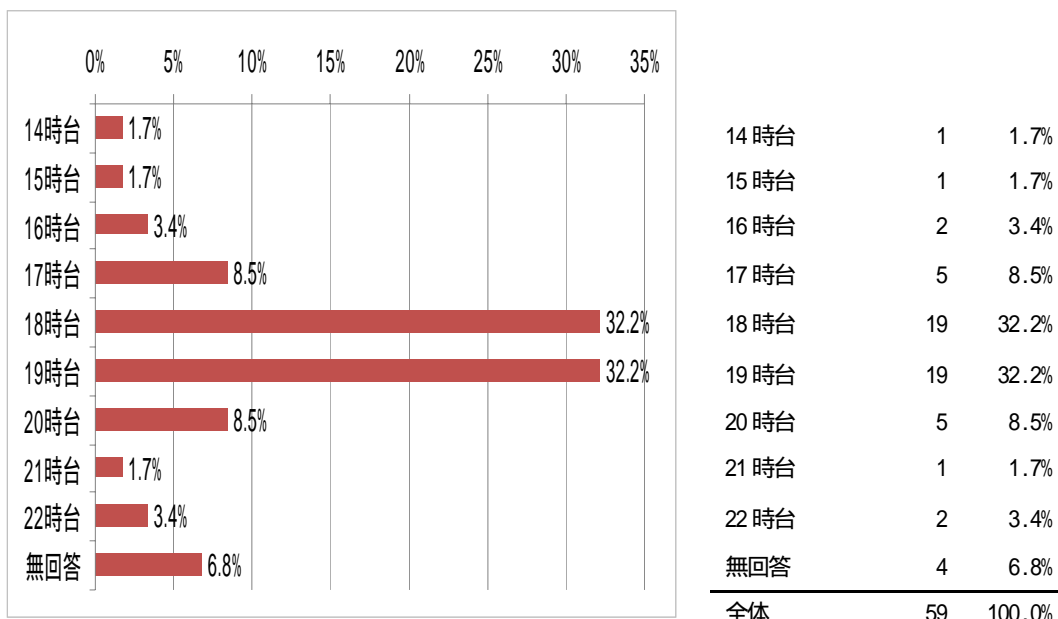
・フルタイムで就労する母親の1週あたり平均就労時間

フルタイムで就労する母親の平均就労時間は、「40～49時間」が最も高く64.4%、次いで「30～39時間」が18.6%となり、30時間から49時間が全体の8割強を占めている。



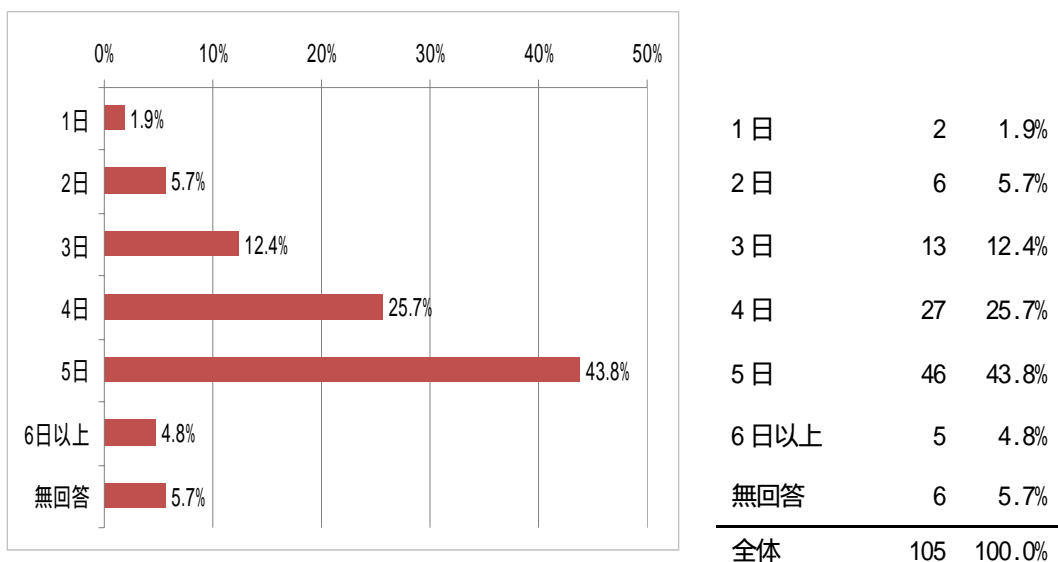
・フルタイムで就労する母親の平均帰宅時間

フルタイムで就労する母親の平均帰宅時間は「18時台」「19時台」が最も高く32.2%、次いで「17時台」「20時台」が8.5%であり、フルタイムで就労する父親より帰宅時間は早い。



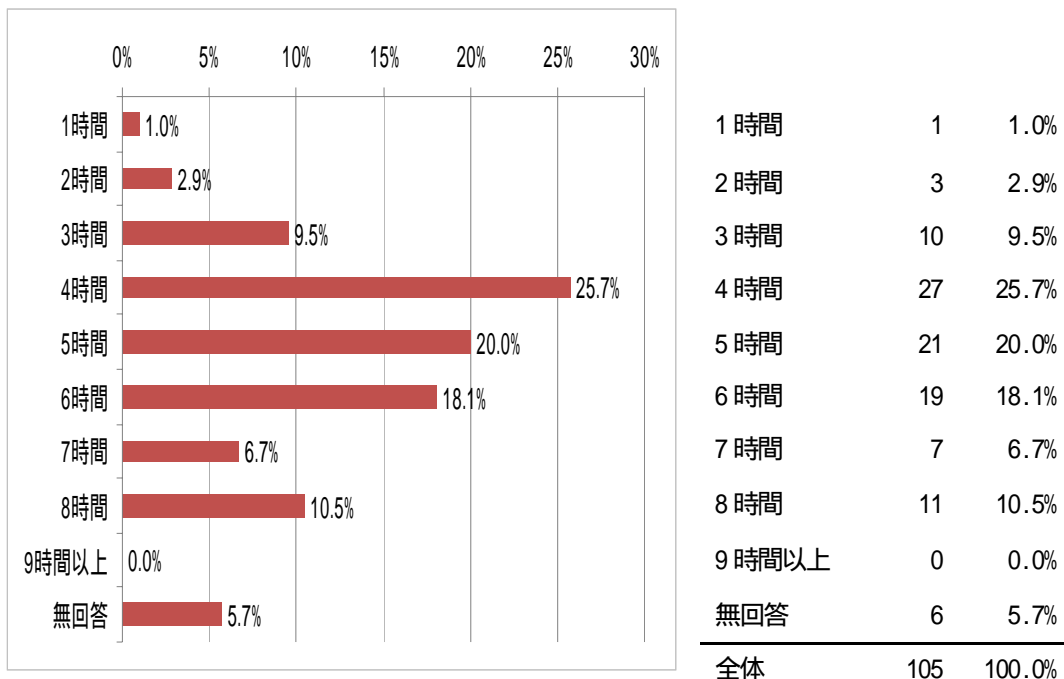
・パートタイム、アルバイト等で就労する母親の1週あたり平均就労日数

パートタイム、アルバイト等で就労する母親の1週あたり平均就労日数は、「5日」が最も高く43.8%、次いで「4日」が25.7%、「3日」が12.4%であった。



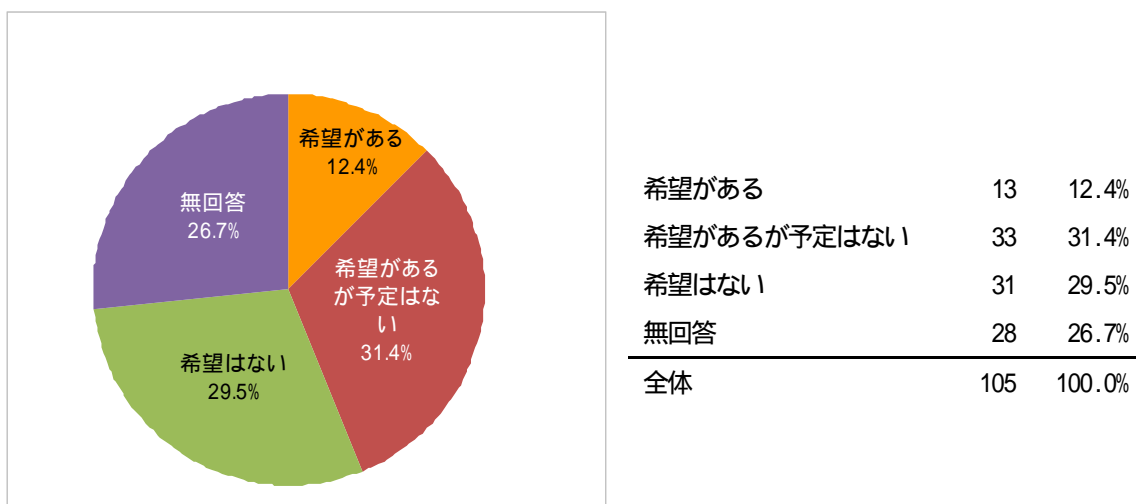
・パートタイム、アルバイト等で就労する母親の1日あたり平均就労時間

パートタイム、アルバイト等で就労する母親の1日あたり平均就労時間は、「4時間」が最も高く25.7%、次いで「5時間」が20.0%、「6時間」が18.1%であった。



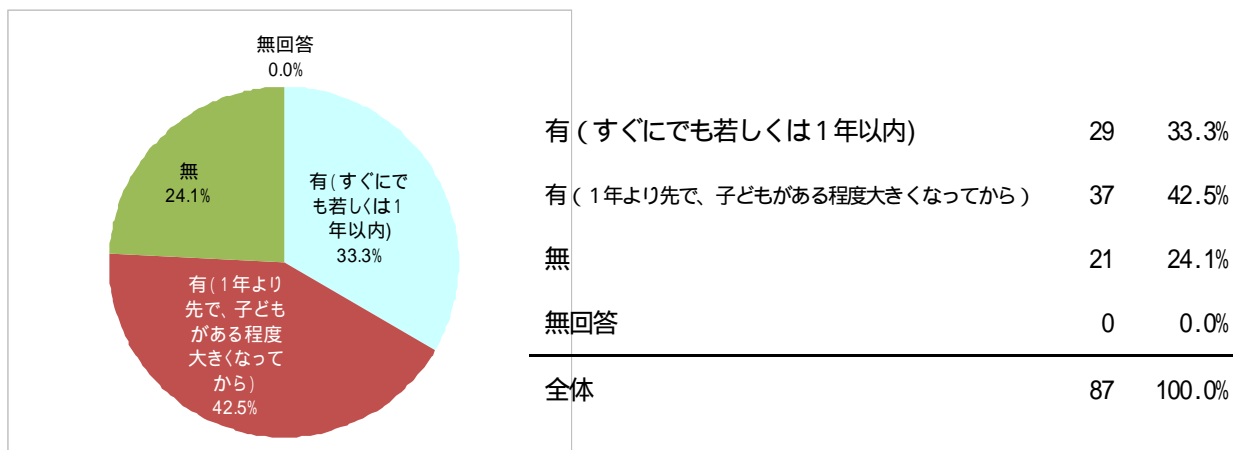
・パートタイム、アルバイトからフルタイムへの転換希望はありますか。

「希望はない」が29.5%、「希望がある」は12.4%、「希望があるが予定はない」が最も高く31.4%となった。



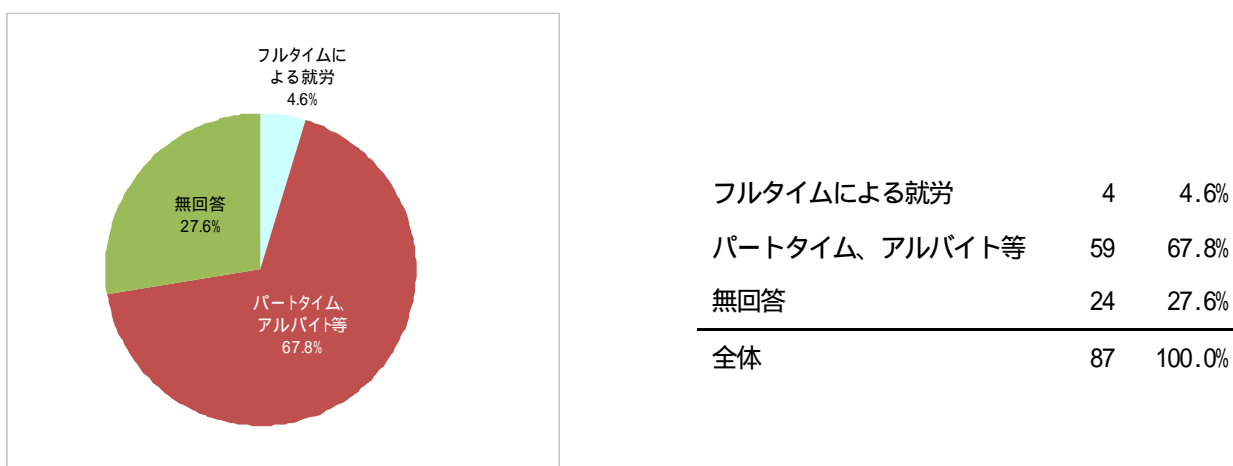
問7 現在就労していない母親の就労希望はありますか。

就労希望は、「1年より先で、子どもがある程度大きくなってから」が42.5%、「すぐ、もしくは1年以内」は33.3%となり、就労希望がある割合は75.8%となった。



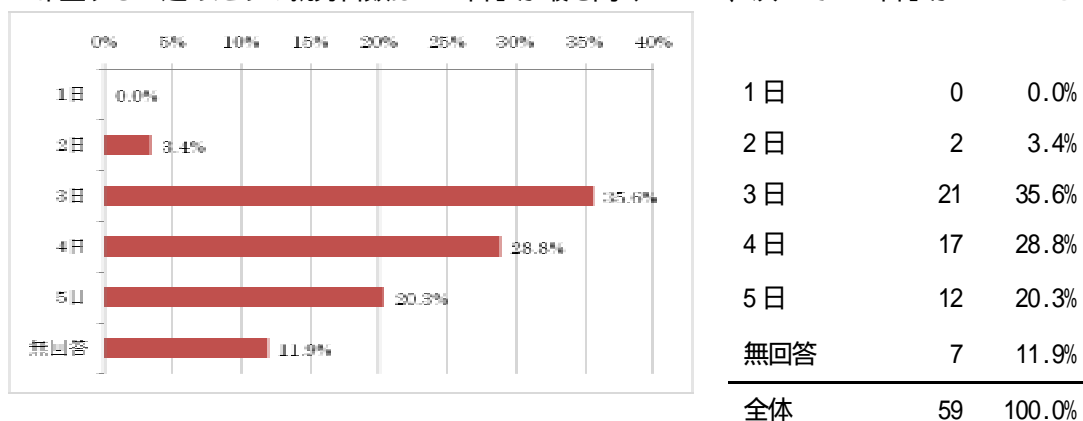
問7-1 希望する就労形態はどのようなものですか。

希望する就労形態は「パートタイム、アルバイト等」が最も高く67.8%となり、フルタイムは4.6%にとどまった。



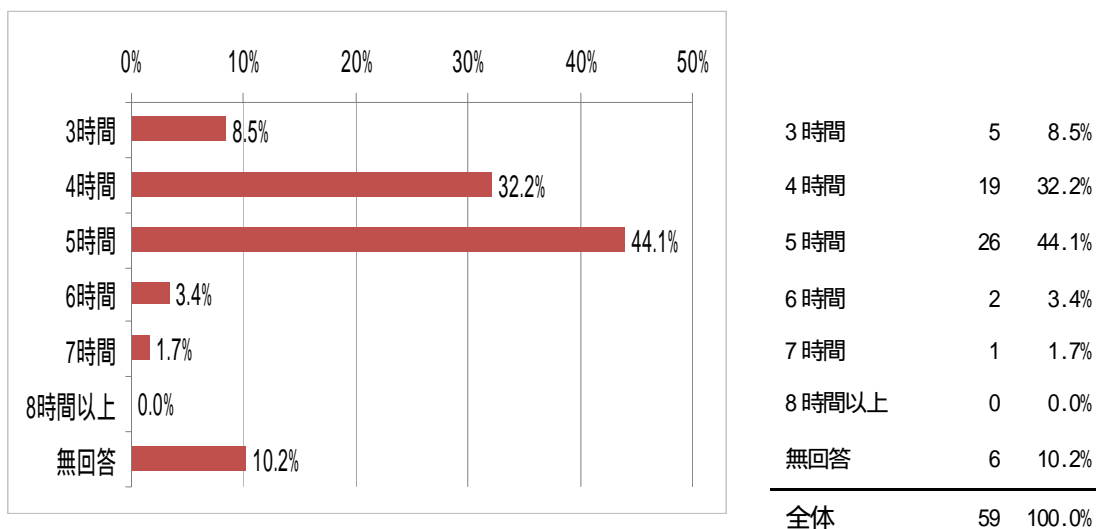
・パート、アルバイトで働く場合、希望する1週あたりの就労日数

希望する1週あたりの就労日数は「3日」が最も高く35.6%、次いで「4日」が28.8%となった。



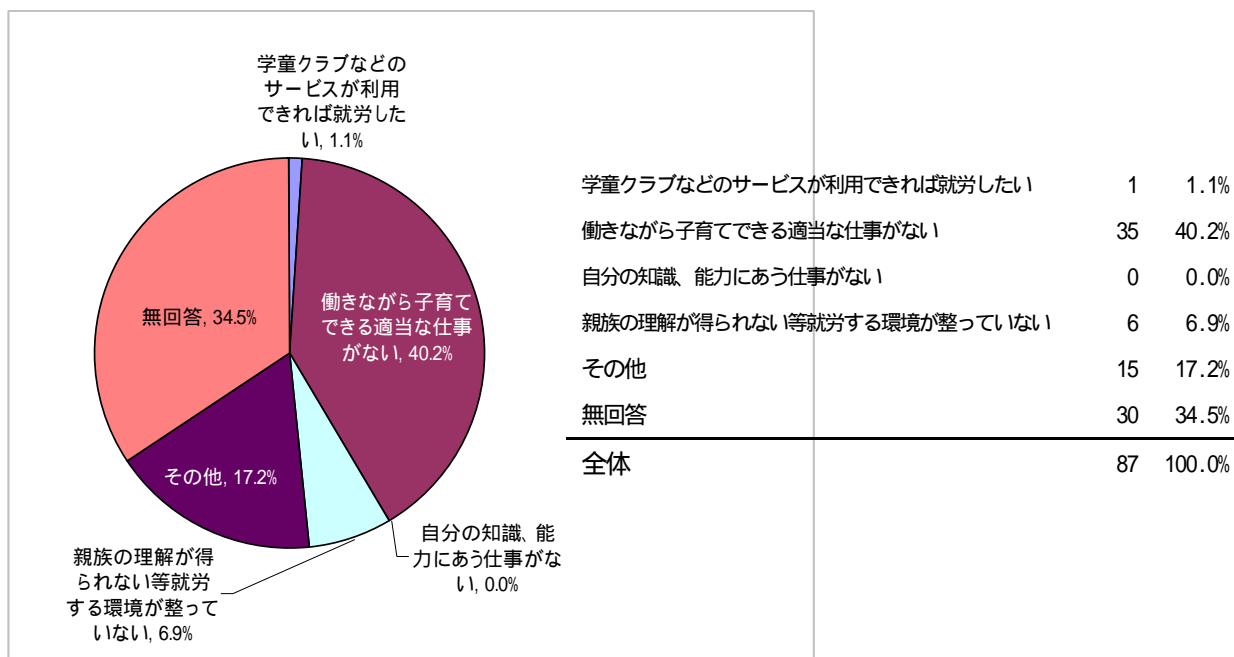
・パート、アルバイトで働く場合、希望する1日あたりの就労時間

希望する1日あたりの就労時間は、「5時間」が最も割合が高く44.1%、次いで「4時間」が32.2%、「3時間」が8.5%などとなり、これらの回答が全体の84.8%を占めている。



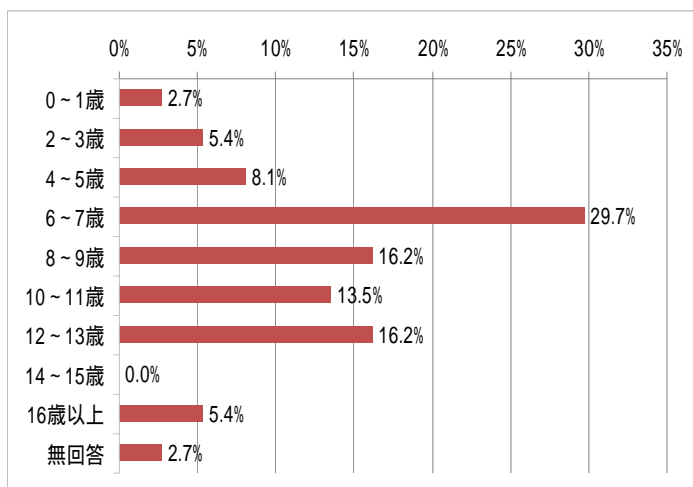
問7-2 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。

就労希望がありながら働いていない理由では、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が40.2%と最も高い。次いで「その他」が高く、内容は「子どもが小さいうちは一緒にいたい」という理由が多い。「学童クラブなどのサービスが利用できれば就労したい」は1.1%とわずかであった。



問7-3 末子が何歳になったら就労を希望しますか。

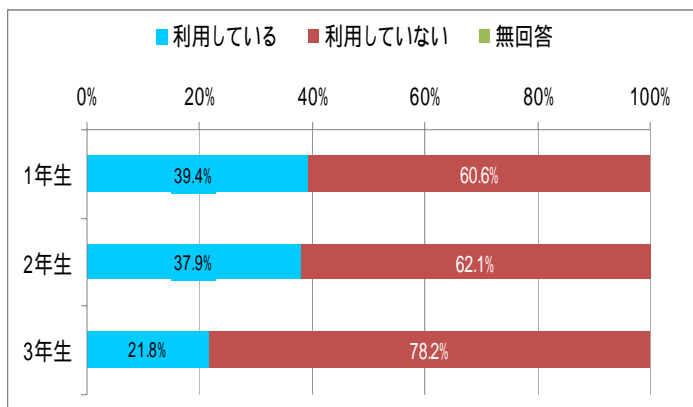
子どもが大きくなってからの就労を望む母親の、就労を希望する末子の年齢は、「6～7歳」が最も高く29.7%、次いで、「8～9歳」と「12～13歳」が16.2%となった。就労の目安を、末子の小学校や中学校へ入学する時期としていることが推測される。



0～1歳	1	2.7%
2～3歳	2	5.4%
4～5歳	3	8.1%
6～7歳	11	29.7%
8～9歳	6	16.2%
10～11歳	5	13.5%
12～13歳	6	16.2%
14～15歳	0	0.0%
16歳以上	2	5.4%
無回答	1	2.7%
全体	37	100.0%

問8 現在、学童クラブを利用していますか。

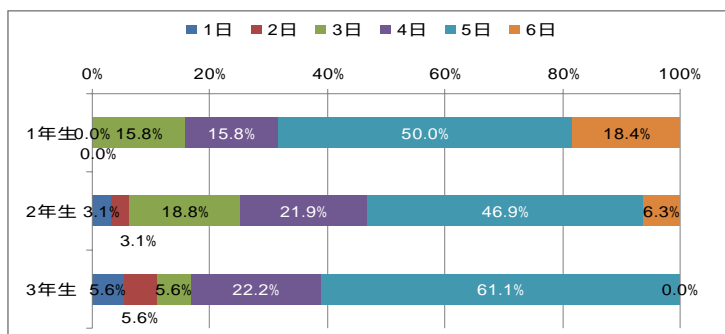
学童クラブの利用を学年別にみると、「利用している」は1年生で最も高く39.4%、2年生は37.9%、3年生は21.8%となった。



	1年生	2年生	3年生
利用している	39.4%	37.9%	21.8%
利用していない	60.6%	62.1%	78.2%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%
全体	100.0%	100.0%	100.0%

問8-1 学童クラブの1週あたりの利用日数は何日ですか。

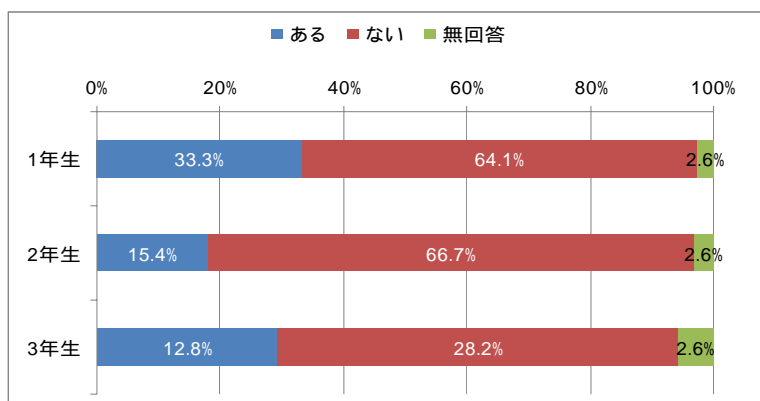
学童クラブの1週あたりの利用日数を学年別にみると、「5日」が最も高く1年生、2年生では約半数を占めている。3年生が61.1%と最も高くなっている。



	1年生	2年生	3年生
1日	0.0%	3.1%	5.6%
2日	0.0%	3.1%	5.6%
3日	15.8%	18.8%	5.6%
4日	15.8%	21.9%	22.2%
5日	50.0%	46.9%	61.1%
6日	18.4%	6.3%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

・土曜日の利用はありますか。

学童クラブの利用者のうち、土曜日も利用している者は、1年生では33.3%、2年生では15.4%、3年生では12.8%と学年が高くなるにつれて、土曜日の利用は低くなっている。



	1年生	2年生	3年生
ある	33.3%	15.4%	12.8%
ない	64.1%	66.7%	28.2%
無回答	2.6%	2.6%	2.6%
全体	100.0%	84.6%	43.6%

・学童クラブを利用している理由は何ですか。

学童クラブを利用している理由は、「就労」が94.4%であり、そのほかの理由はほとんどみられない。

現在就労している	84	94.4%
就労予定がある / 求職中である	2	2.2%
家族・親族などを介護しなければならない	0	0.0%
病気や障害を持っている	0	0.0%
学生である	0	0.0%
その他	1	1.1%
無回答	2	2.2%
全体	89	100.0%

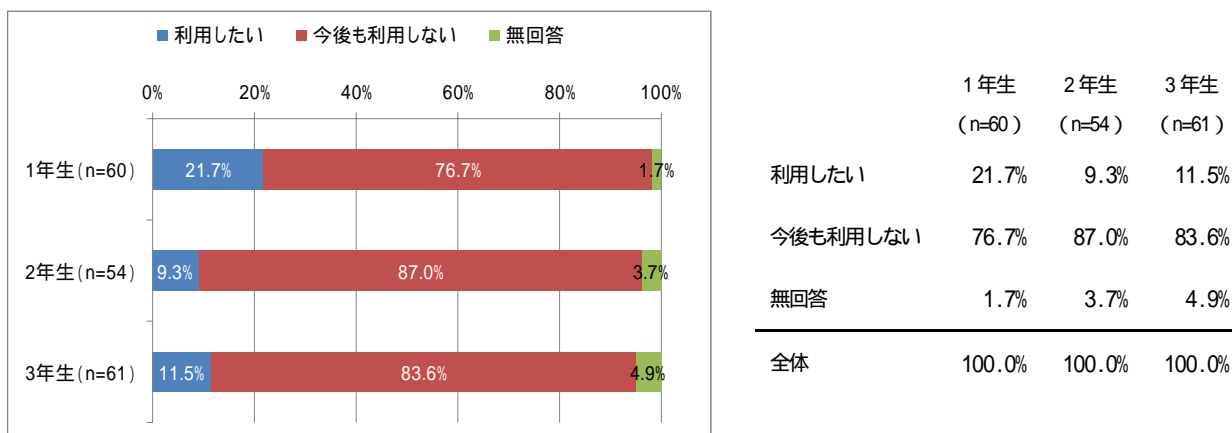
問8-2 学童クラブを利用していない理由は何ですか。

現在、学童クラブを利用していない理由を学年別にみると、「現在就労していないから」はどの学年でも最も高い。次いで「その他」が高く、「子どもの帰宅時間には家に帰っているから」が多かった。

	現在就労していないから	就労しているが									
		学童クラブを知らなかったから	近くに学童クラブがないから	学童クラブに空きがないから	学童クラブの閉所時間が短いから	育成料がかかるから	子どもは放課後の習い事をしているから	放課後の時間ならば子どもだけでも大丈夫だと思うから	他の施設に預けているから	その他	無回答
全体 (n=175)	98	3	3	0	0	4	8	25	0	34	0
1年生 (n=60)	39	1	0	0	0	2	3	4	0	11	0
2年生 (n=54)	30	1	1	0	0	2	3	6	0	11	0
3年生 (n=61)	29	1	2	0	0	0	2	15	0	12	0

問8-3 現在は学童クラブを利用していないが、今後、学童クラブを利用したいですか。

現在、学童クラブを利用していない者の今後の利用希望を学年別にみると、1年生では「利用したい」は21.7%、2年生では9.3%、3年生では11.5%と、2年生の利用意向が低い。



・ 1週あたり何日利用したいですか。

1週あたりの学童クラブの利用希望日数を学年別にみると、1年生では「3日」と「5日」が最も高く、2年生では「5日」、3年生では「4日」と「5日」が高くなっている。

利用希望者のうち、土曜日の利用希望を学年別にみると、1年生では38.5%、2年生では80.0%、3年生では42.9%となった。

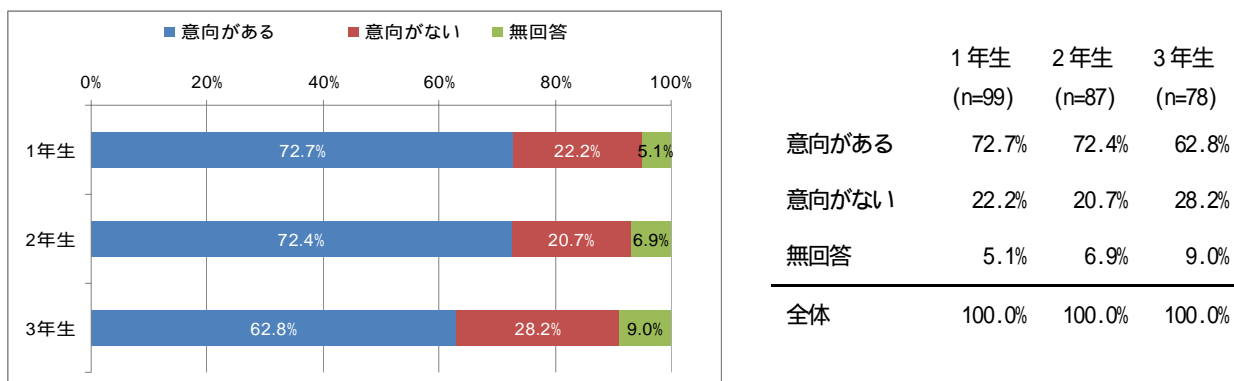
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	無回答	土曜日の利用	
								ある	ない
1年生(n=13)	0	1	5	0	5	1	1	5	7
2年生(n=5)	0	0	1	1	2	0	1	4	0
3年生(n=7)	0	0	1	2	2	0	2	3	2

問8-4 現在は利用していないが、今後、学童クラブを利用したいと考える理由は何ですか。

学童クラブを利用したいと考える最も高い理由を学年別にみると、1年生は「そのうち就労したいと考えている」が10名、2年生では「現在就労している」が2名、3年生では「子どもの健全育成のため」が3名となっている。

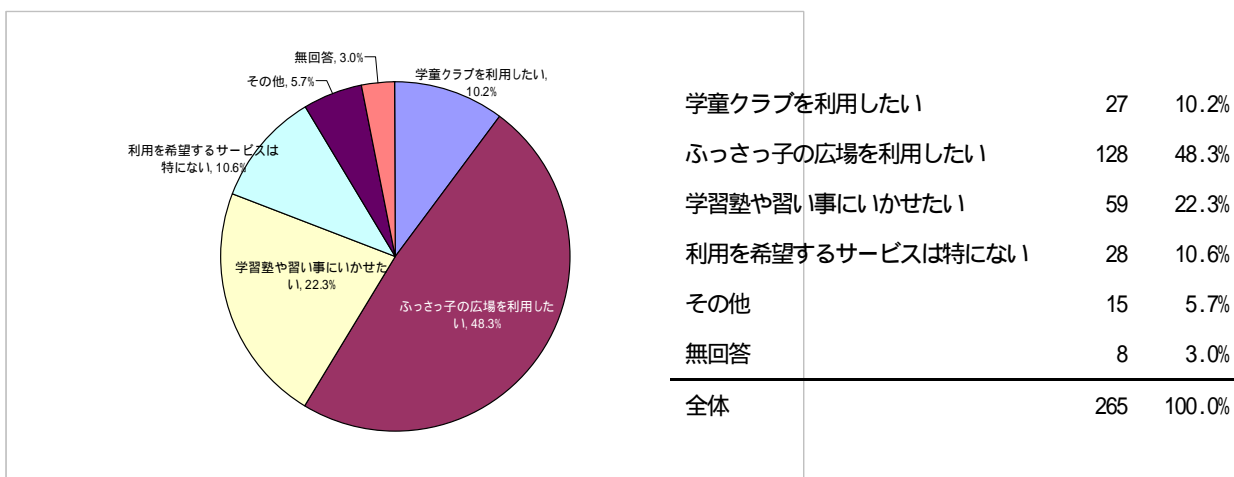
問8-5 ふっさっ子の広場の利用意向についてお伺いします。

1年生、2年生では7割強が利用を希望しており、3年生でも6割以上が利用を希望している。



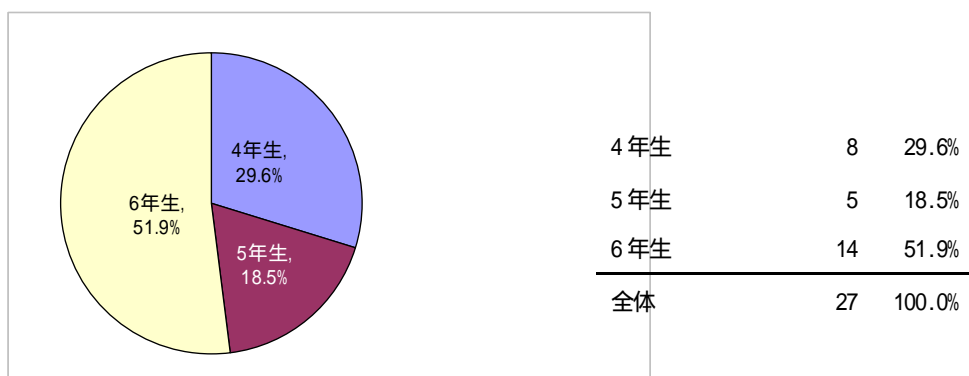
問9 小学校4年以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。

4年生以降の過ごし方は、「ふっさっ子の広場を利用したい」が48.3%と約5割を占め、次いで、「学習塾や習い事にいかせたい」が22.3%となっている。



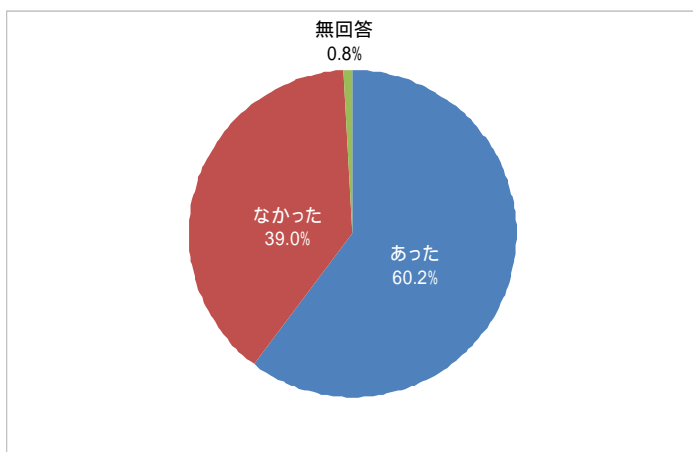
・学童クラブを何年生まで利用したいですか。

学童クラブの利用したいを選択したもののうち、「6年生」までが51.9%、「5年生」までが18.5%、「4年生」までが29.6%であった。



問10 この1年間で、病気やケガのため学校を休まなければならなかったことはありますか。

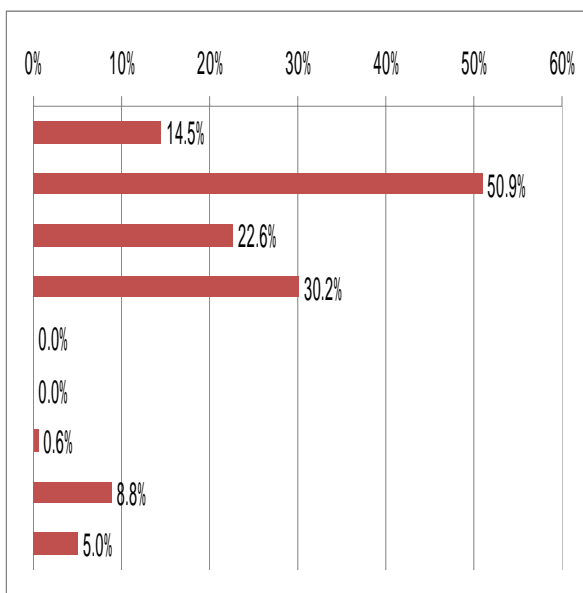
病気やケガで学校を休んだことがある割合は、60.2%だった。



あった	159	60.2%
なかった	103	39.0%
無回答	2	0.8%
全体	264	100.0%

問10-1 お子さんが病気やケガで学校を休んだときの対処方法は何ですか。(複数回答)

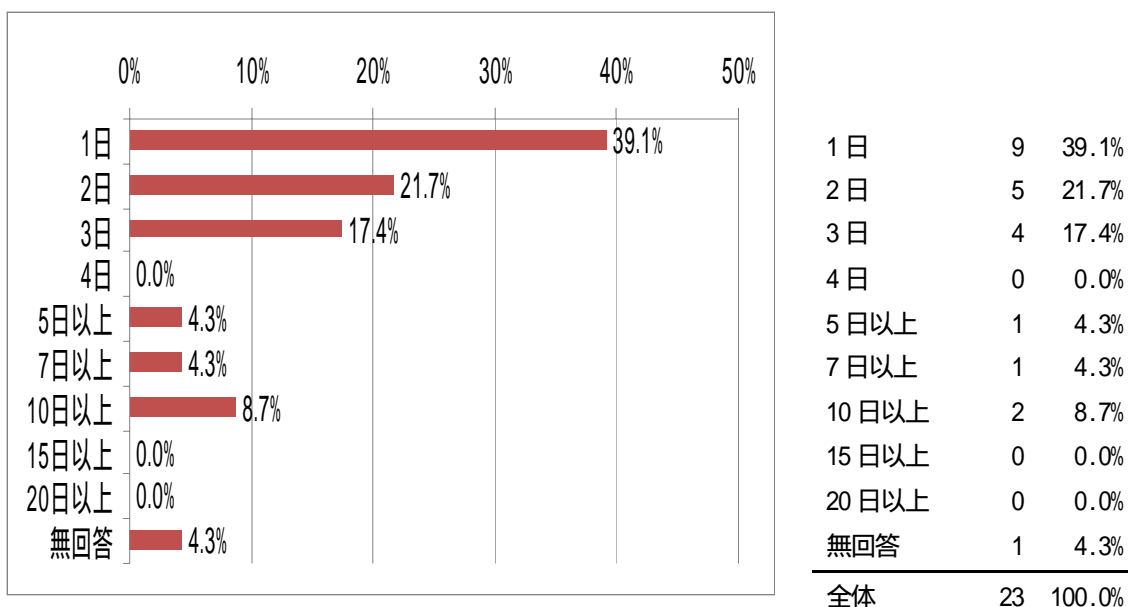
学校を休んだときの対処方法は、「母親が休んだ」が50.9%と最も高く、次いで、「就労していない保護者がみた」が30.2%、「親族、知人に預けた」が22.6%となった。保育サービスを利用した割合は「ほっとサービスにお願いした」が0.6%と保育サービスの利用は低い。



父親が休んだ	23	14.5%
母親が休んだ	81	50.9%
親族・知人に預けた	36	22.6%
就労していない保護者がみた	48	30.2%
病児・病後児の保育サービスを利用した	0	0.0%
ベビーシッターを頼んだ	0	0.0%
ほっとサービスにお願いした	1	0.6%
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	14	8.8%
その他	8	5.0%
全体	159	100.0%

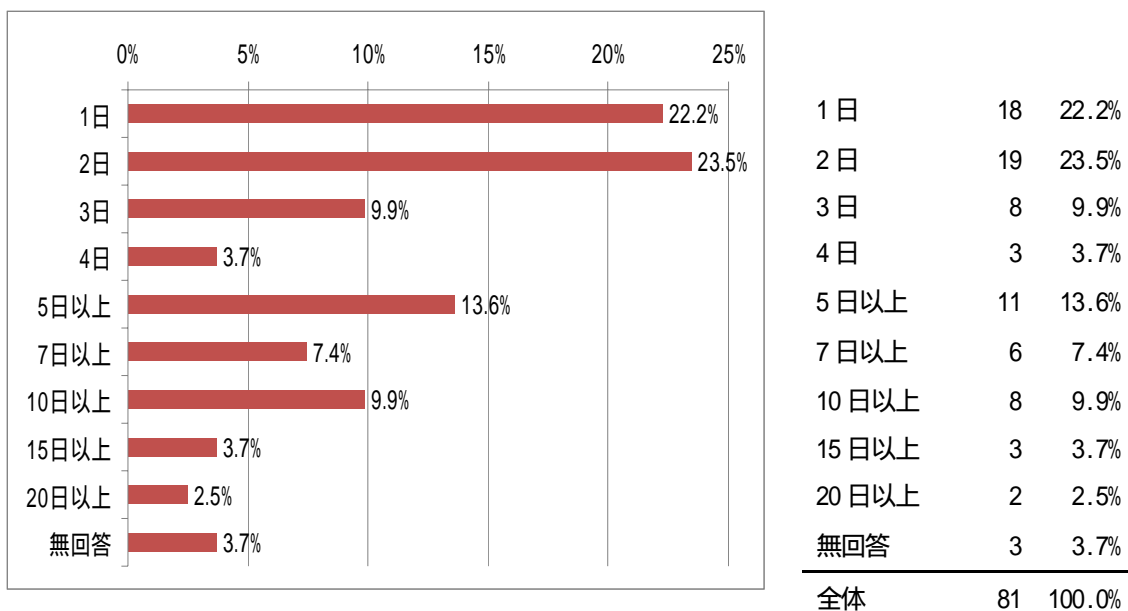
・父親が休んだ日数は何日ですか。

父親が休んだ日数は、「1日」が最も高く39.1%、次いで「2日」が21.7%、「3日」が17.4% となった。「5日以上」の合計は17.3%となっている。



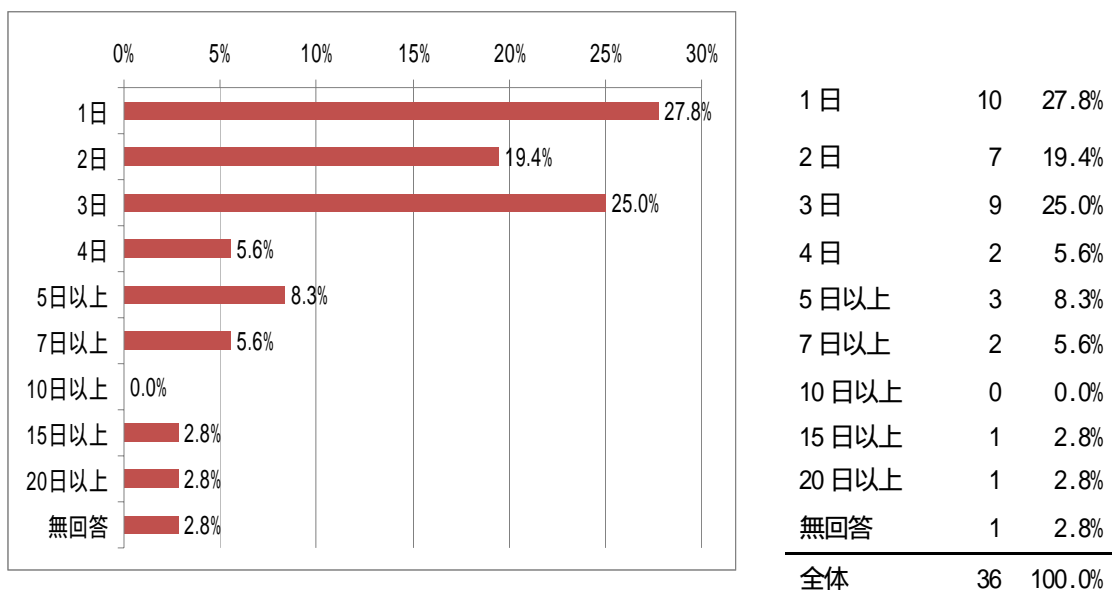
・母親が休んだ日数は何日ですか。

母親の休んだ日数は「1日」と「2日」が22.2%と23.5%であった。「5日以上」の合計が37.1%となるなど、父親に比較して休んだ日数は多い。



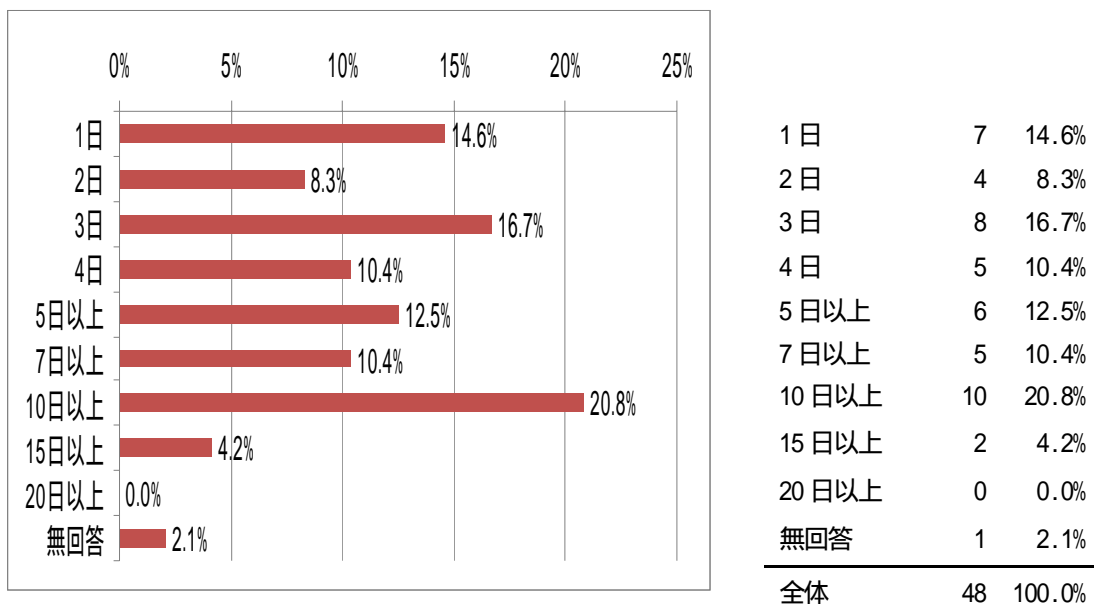
・親族、知人に預けた日数は何日ですか。

親族・知人(同居を含む)に預けた日数は、「1日」が最も高く27.8%、次いで「3日」が25.0%、「2日」が19.4%となった。「4日」と「7日以上」も5.6%みられた。



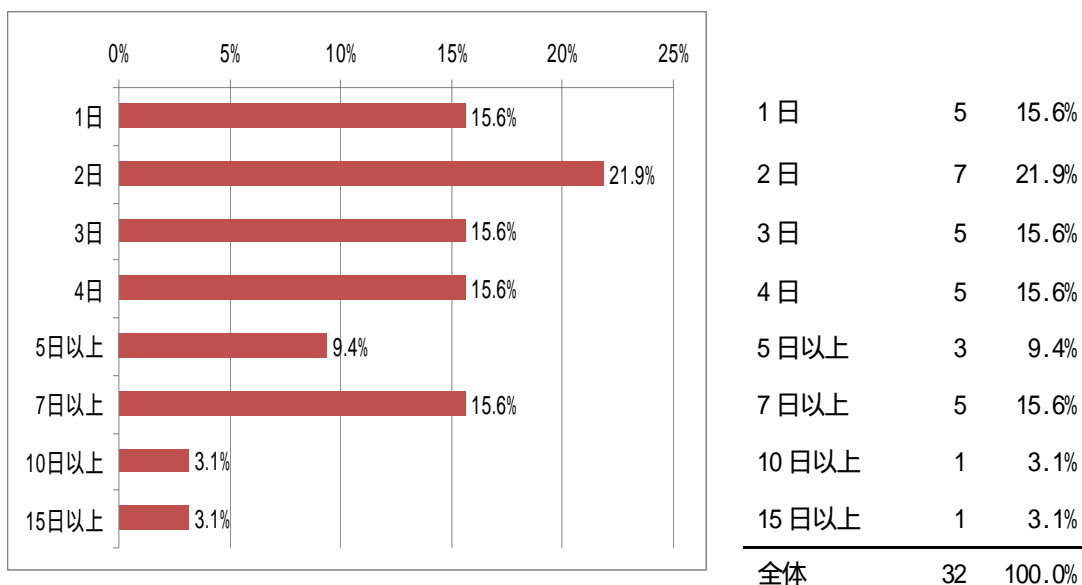
・就労していない保護者がみた日数は何日ですか。

就労していない保護者がみた日数は、「10日以上」が最も高く20.8%、次いで「3日」が16.7%、「1日」が14.6%などとなった。



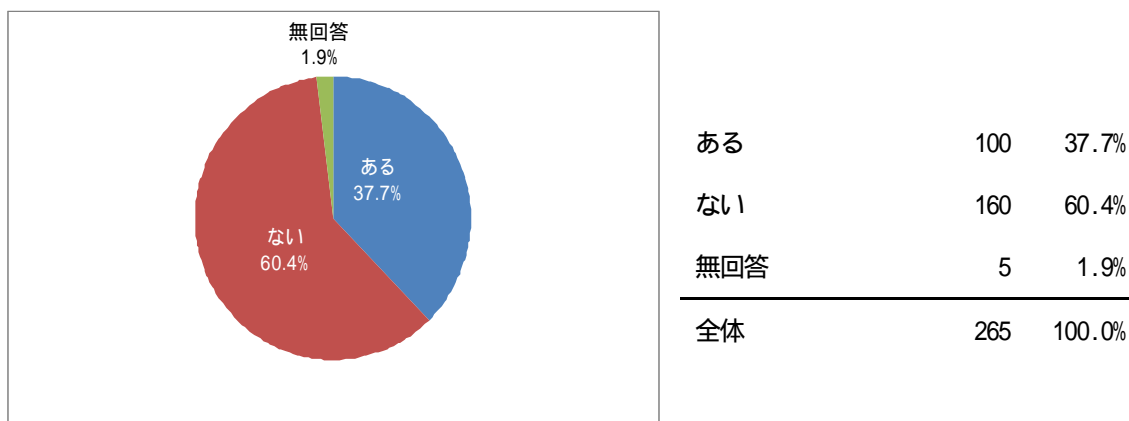
問 10-2 できれば施設に預けたいと思う日数は何日ですか。

父親や母親が休んだ、または親族や知人に預けたと回答した者の、できれば施設に預けたいと思う日数は、「2日」が最も高く21.9%であり、次いで「1日」「3日」「4日」「7日以上」が15.6%であった。



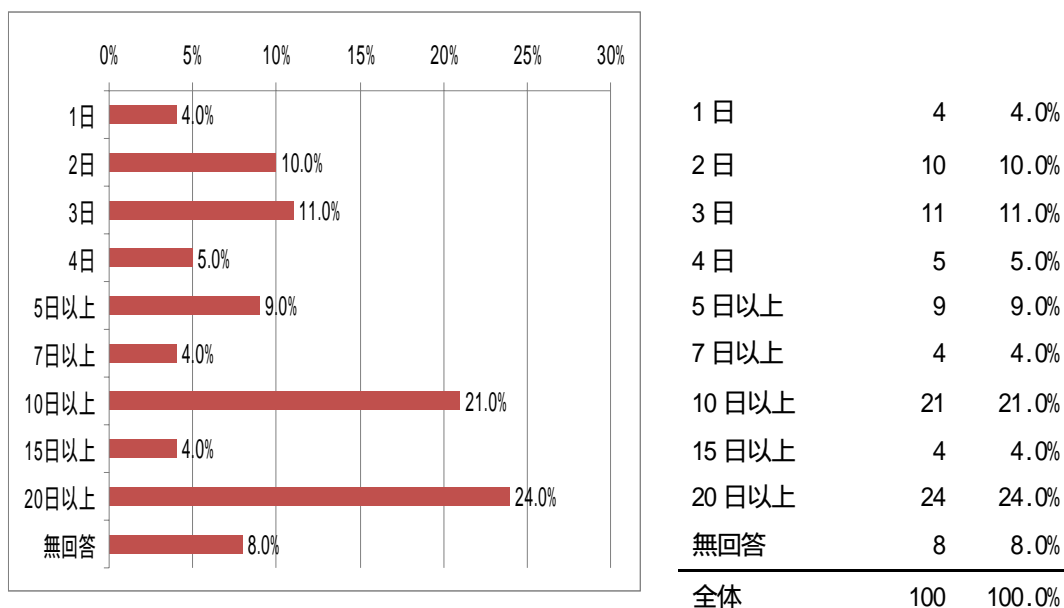
問 11 この1年間に私用やリフレッシュ目的、冠婚葬祭、就労等で一時的に子どもを預けたことはありますか。

私用やリフレッシュ目的、冠婚葬祭、就労等で子どもを預けたことがあるのは37.7%であり、60.4%は「ない」と回答した。



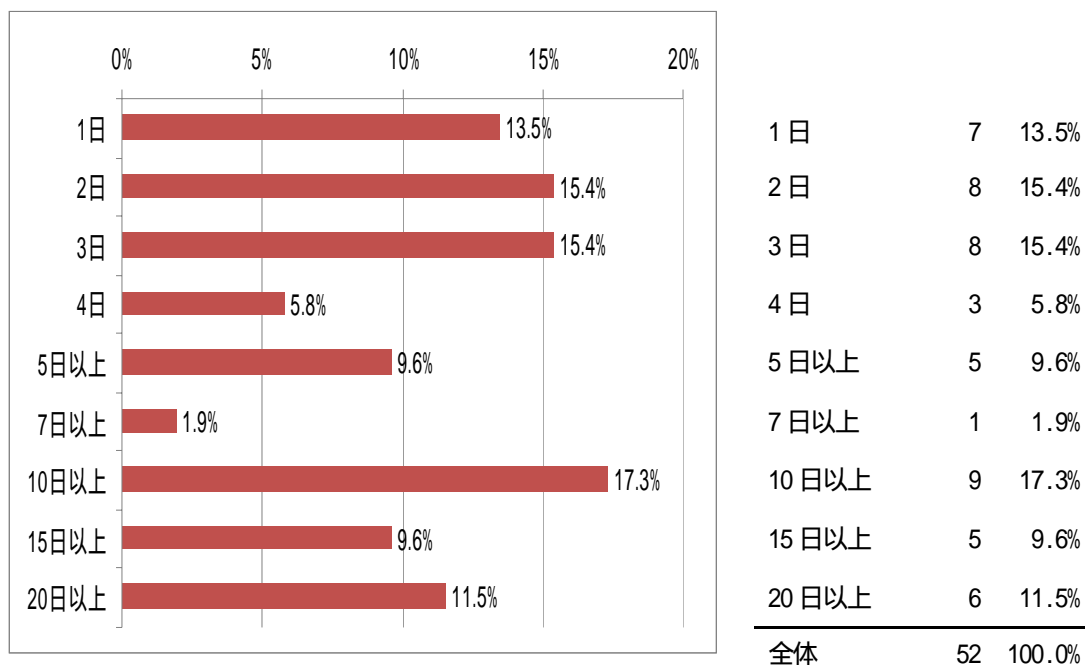
・一時的に子どもを預けたのは年間何日ですか。

私用などで一時的に子どもを預けた年間日数は、「20日以上」が最も高く24.0%、次いで「10日以上」が21.0%となっている。



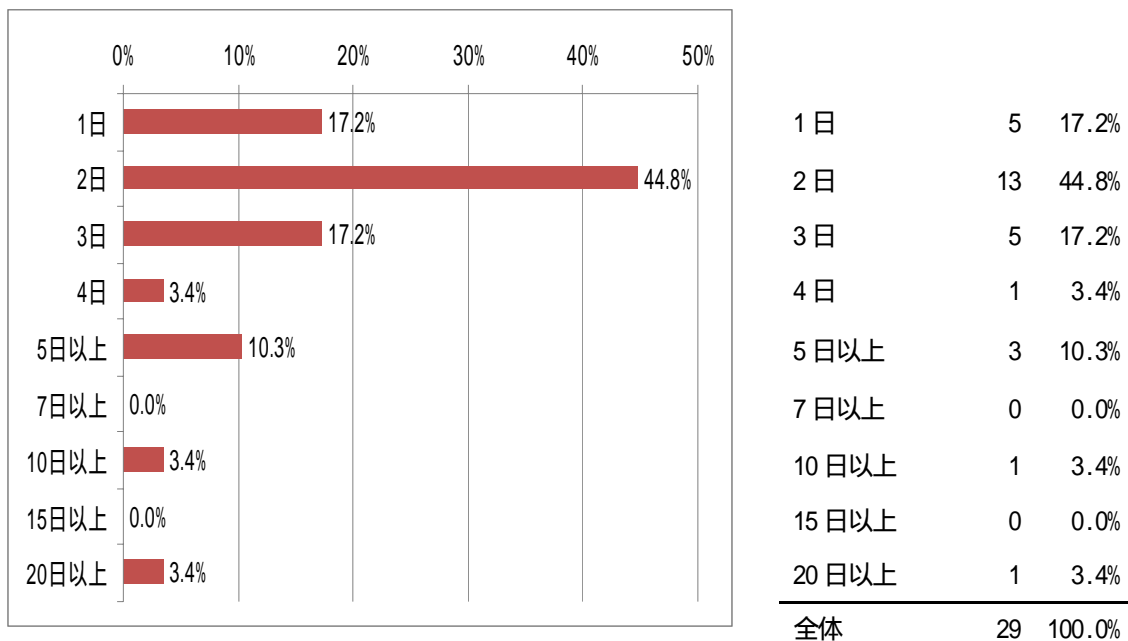
・1年間に私用やリフレッシュ目的で一時的に預けた日数は何日ですか。

私用やリフレッシュ目的で一時的に預けた日数は、「10日以上」が最も高く17.3%、次いで「2日」「3日」が15.4%となった。



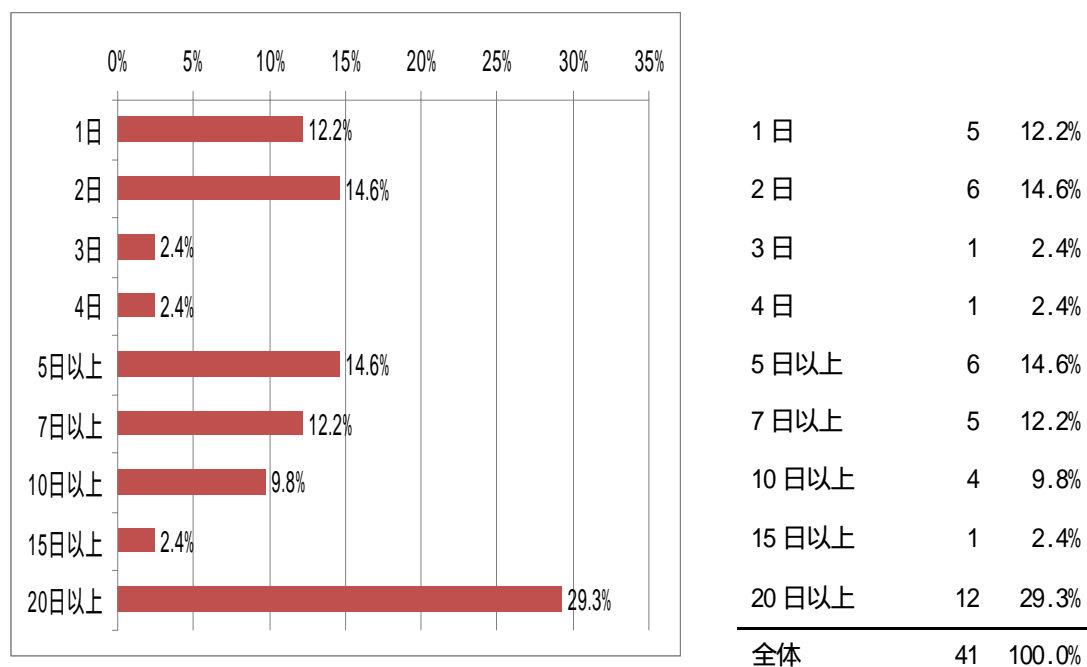
・ 1年間に冠婚葬祭、子どもの親の病気で一時的に預けたのは何日ですか。

冠婚葬祭や親の病気で一時的に預けた日数は、「3日以内」が全体の79.2%を占めており、短期間であることがわかる。



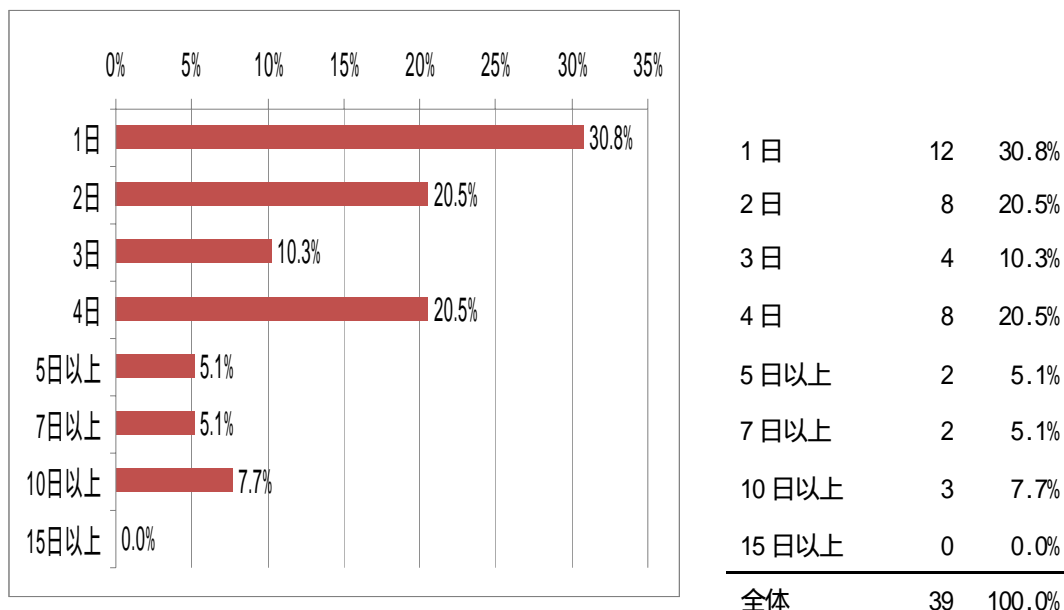
・ 1年間に就労で一時的に預けたのは何日ですか。

就労で一時的に預けた日数は「20日以上」が29.3%で最も高く、次いで「5日以上」14.6%、「7日以上」12.2%となった。



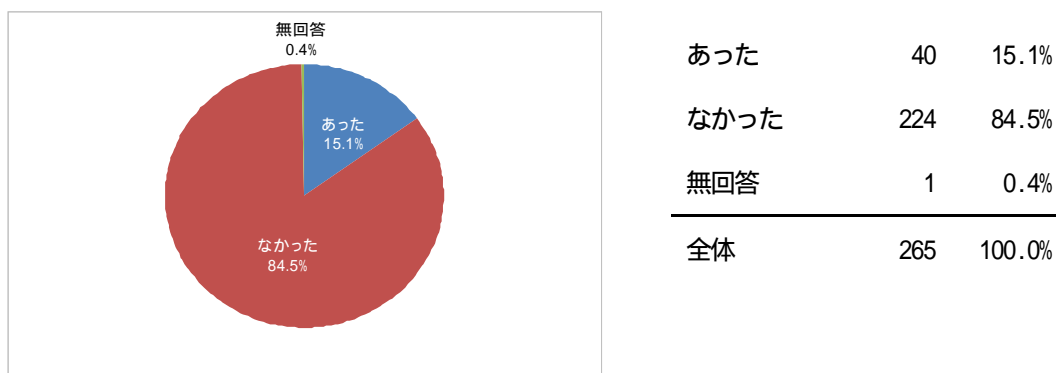
問 12 一時保育をできれば利用したい、利用日数を増やしたい日数は1ヶ月何日ですか。

今後の一時預かりの利用について、利用したい、あるいは利用を増やしたい日数は「1日」が最も高く30.8%、次いで「2日」「4日」が20.5%、「10日以上」も7.7%であった。



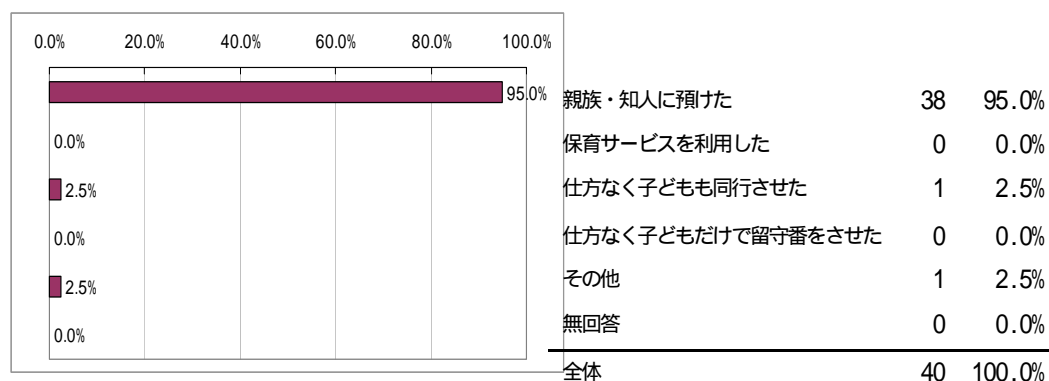
問 13 1年間に保護者の用事等で、泊りがけで家族以外に子どもを預けたことはありますか。

この1年間に、保護者の用事等で子どもを夜間預けたことが「あった」のは15.1%で、84.5%は「ない」と回答した。



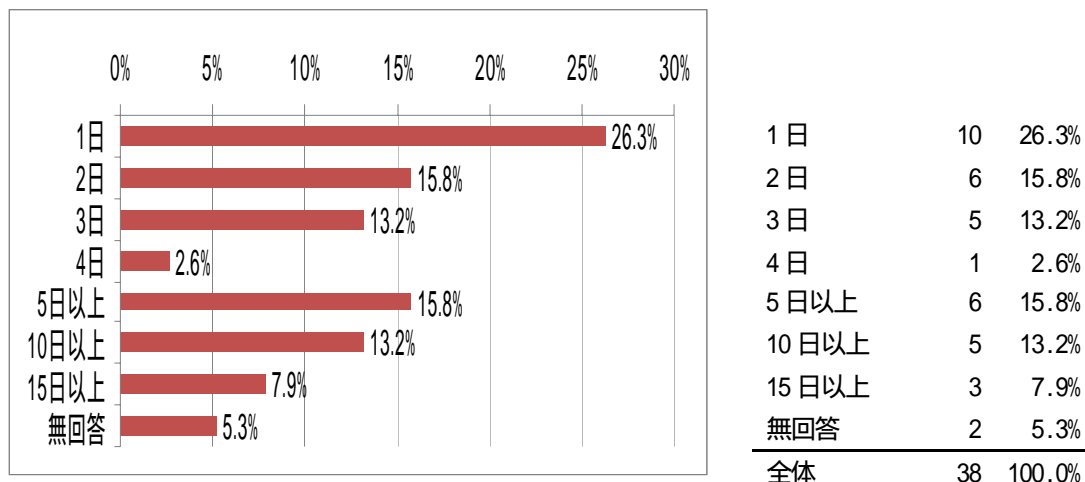
問 13-1 泊りがけで家族以外に子どもを預けた場合、その対処方法は何ですか。(複数回答)

夜間預ける対処方法は、「(同居者を含む)親族・知人に預けた」が最も高く95.0%、次いで「仕方なく子供だけで留守番させた」が僅か2.5%となった。



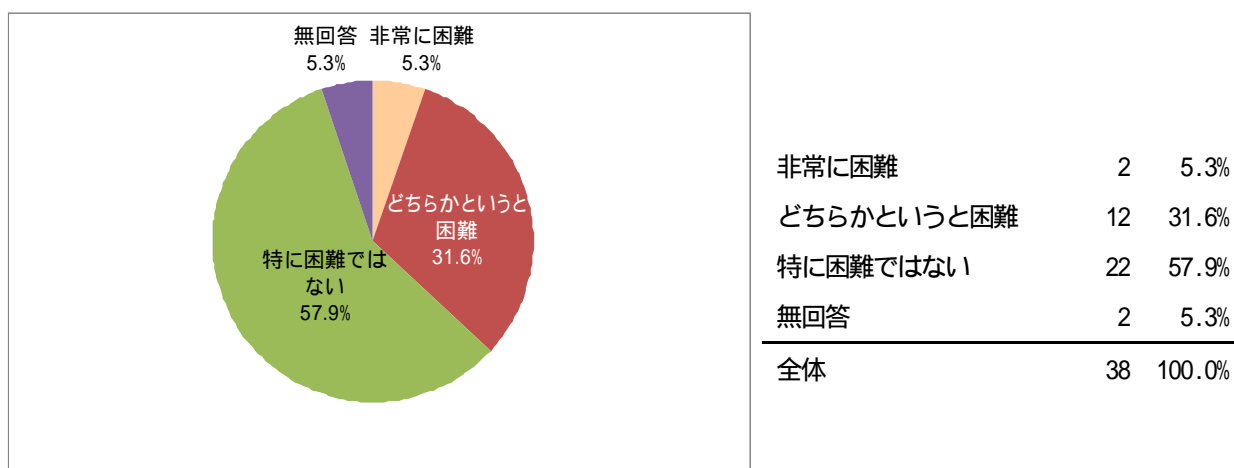
・夜間に親族・知人に預けたのは年間何日ですか。

夜間に親族・知人に子どもを預けた年間日数は、「1日」が最も高く26.3%、次いで「2日」「5日以上」が15.8%、「10日以上」と「3日」が13.2%となった。



問13-2 泊りがけで家族以外に子どもを預ける困難度はどの程度でしたか。

「親族・知人に預けた」場合の困難度は、「特に困難ではない」が約6割の57.9%で最も高く、次いで、「どちらかという困難」が31.6%となっている。



問14 ベビーシッターを利用していますか。

ベビーシッターの利用は、「利用している」が2名(0.8%)で、利用者は少数だった。(全体265) 利用目的は、「子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している」「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」がそれぞれ1名であった。

問14-1 どれくらいの頻度で利用していますか。

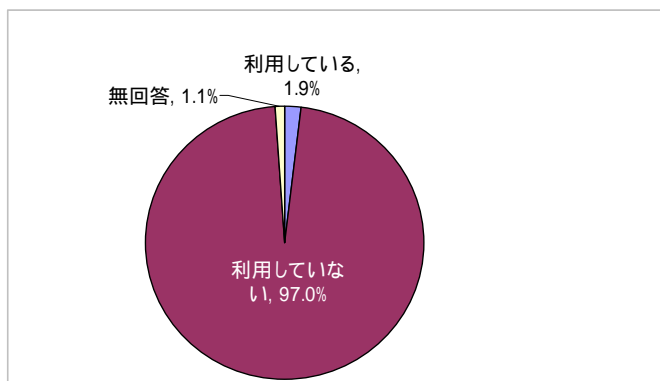
利用頻度については、無回答であった。

問15 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいですか。

月に「2日」が1名、「3日」が1名、「5日」が1名であった。

問 16 ほっとサービスを利用していますか。

ほっとサービスを利用は、「利用している」が1.9%、「利用していない」が97.0%であった。



利用している	5	1.9%
利用していない	257	97.0%
無回答	3	1.1%
全体	265	100.0%

問 16-1 どのような目的で利用していますか。

「保育施設等の送り迎えに利用している」が2名、「祖父母や近所の人・知人等に預かってもらえないときに利用している」、「子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している」、「親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している」がそれぞれ1名であった。

問 16-2 月に何日くらい利用していますか。

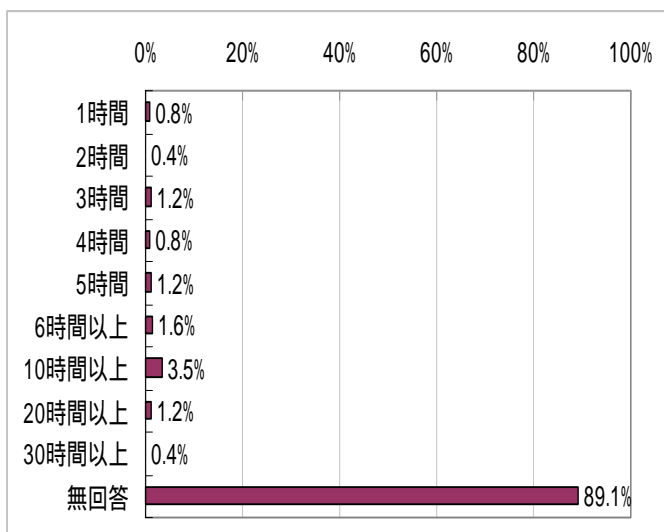
1ヶ月あたりの利用日数は「1日」「2日」「3日」「4日」「5日以上」がそれぞれ1名であり、1回あたりの利用時間は「1時間」が3名、「3時間」と「6時間以上」がそれぞれ1名であった。

問 16-3 利用日数・回数を増やしたいと思いますか。

利用を増やしたい時間数は、「8時間以上」1名、無回答が4名であった。(n=5)

問 16-4 今は利用していないが、できれば利用したいのは月に何時間ですか。

現在利用していないが、できれば利用したい時間は、無回答が89.1%と多いが、「10時間以上」が最も高く3.5%、次いで「6時間以上」が1.6%となった。



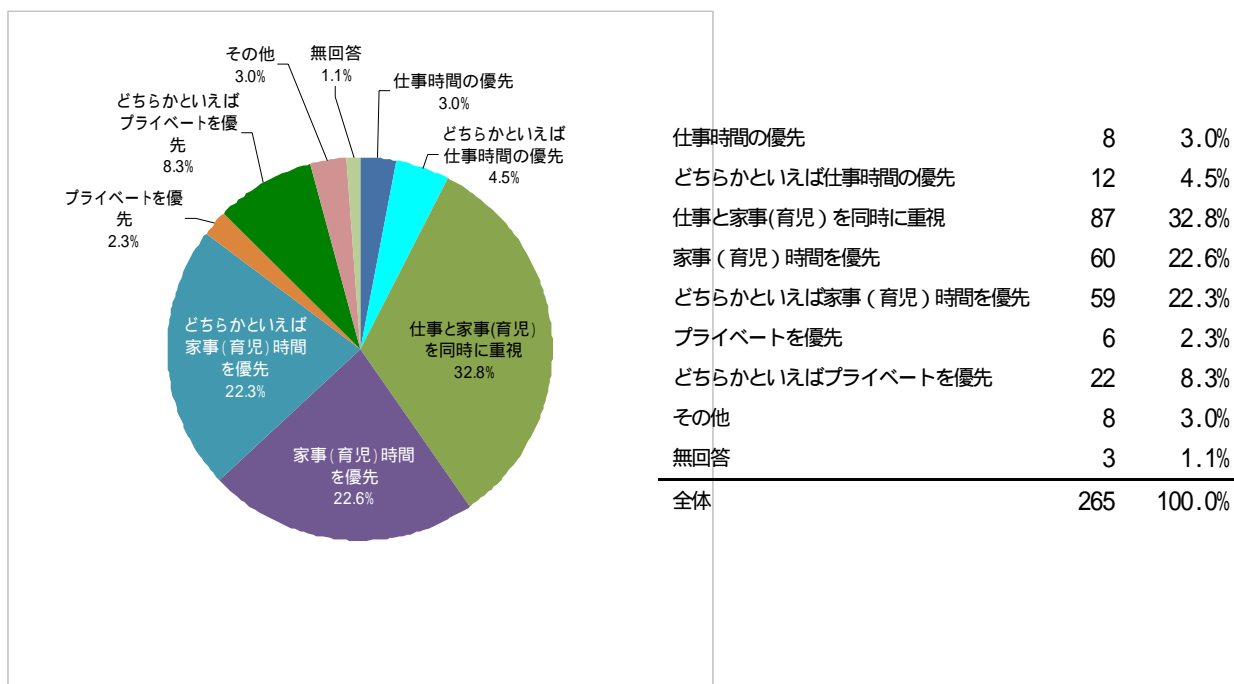
1時間	2	0.8%
2時間	1	0.4%
3時間	3	1.2%
4時間	2	0.8%
5時間	3	1.2%
6時間以上	4	1.6%
10時間以上	9	3.5%
20時間以上	3	1.2%
30時間以上	1	0.4%
無回答	229	89.1%
全体	257	100.0%

問 17 「仕事時間」と「家事(育児)・プライベートの生活時間」の優先度を「希望」と「現実」についてお伺いします。

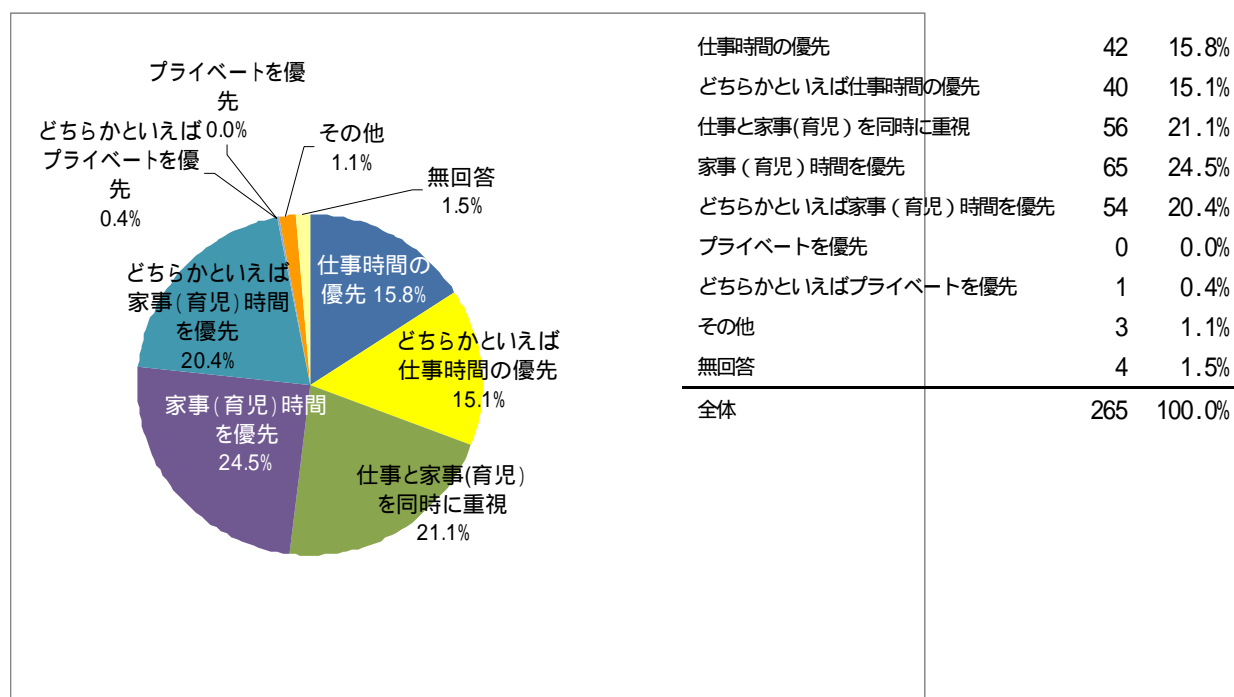
仕事と家事の優先度を「現実」と「希望」に分けると、「希望」では「仕事と家事(育児)を同時に重視」が最も高く 32.8%、「現実」では「家事(育児)時間を優先」が 24.5%となり、就学前児童と同様の傾向を示している。

「プライベートを優先」「どちらかといえばプライベートを優先」を合わせると、「希望」は 10.6%であるが「現実」では 0.4%であった。

希望

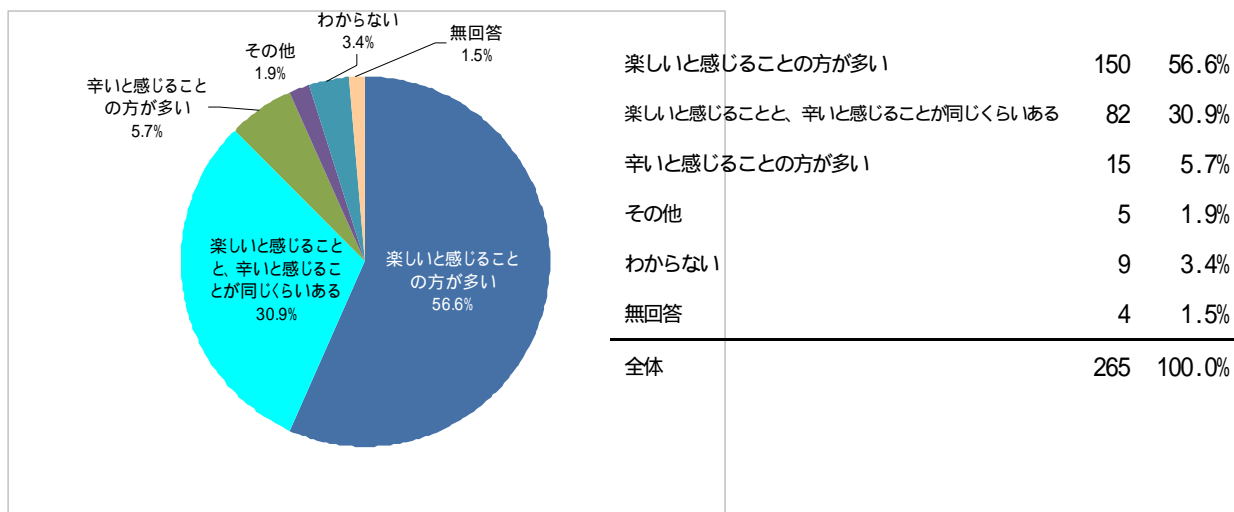


現実



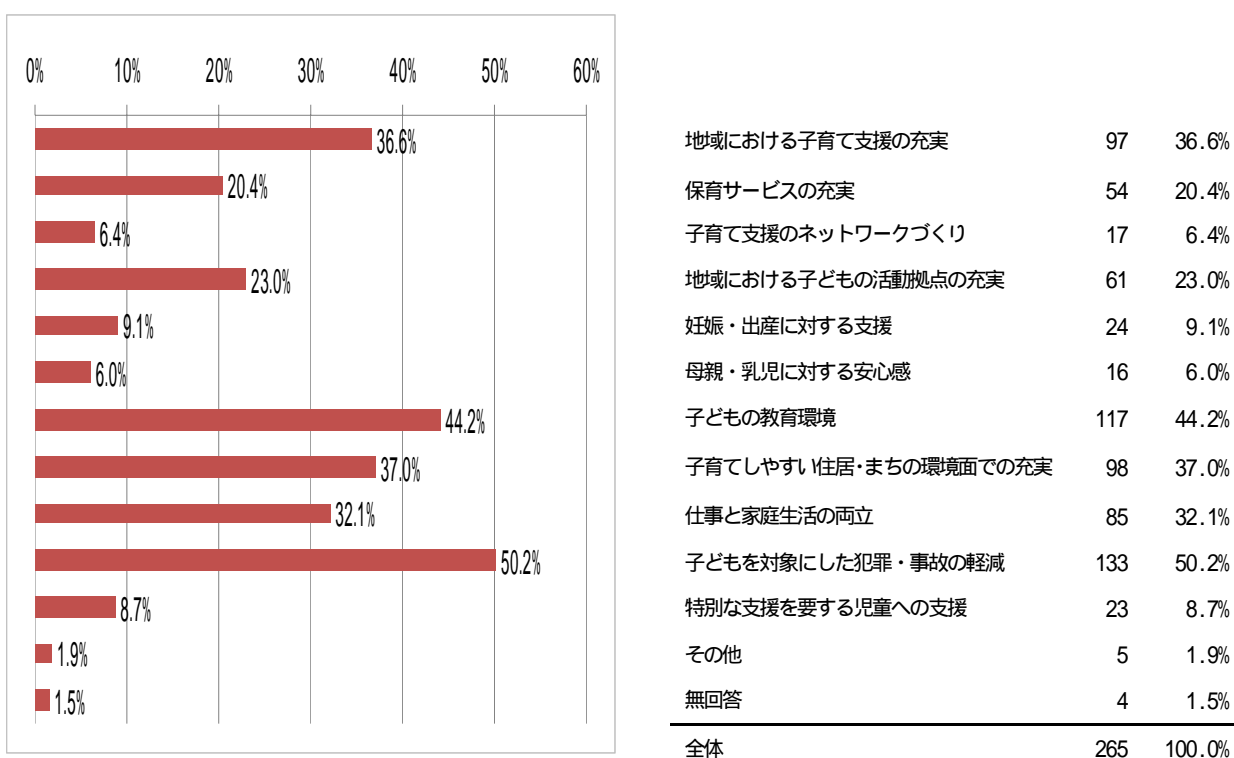
問18 子育てを楽しんでいることが多いですか。

「楽しいと感じることの方が多い」が56.6%、「楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある」が30.9%、「辛いと感じることの方が多い」が5.7%であった。約6割の人が子育てを楽しんでいると感じており、就学前児童のいる家庭と同様の傾向をしめしている。



問19 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。(複数回答)

「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」を上げる人が50.2%と最も高い。次いで、「子どもの教育環境」が44.2%、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」「地域における子育て支援の充実」「仕事と家庭生活の両立」がそれぞれ3割を超えており、就学前児童の家庭と同様の傾向を示している。



問20 子育ての不安や悩みの相談相手や手段は主にどれですか。(複数回答)

子育てに関する相談相手は、「友人・知人・近所の人」が最も高く75.5%、次いで「配偶者」71.3%、「祖父母」が49.8%となった。

